

研 究 計 画

○研究主題

「基礎学力を高める工夫」

～学習意欲や自己有用感を高めながら、「わかった・できた」と実感できる授業づくり～

○研究の特徴

学校全体として、生徒たちの「読む力」「書く力」「計算する力」を中心とした、基礎的・基本的な学力の定着を目指す。教師はＩＣＴ機器を含めて、教具・教材を効果的に活用しながら、個に応じた指導を行う。学校は生徒に対し、理解したことを活用できるレベルに引き上げることで四中全体の学力向上を図ることを目指す。

○研究の方針

- ・定期的に生徒の実態調査を行い、成果を確認しながら、研究を進める。
- ・具体的な研究項目については年次目標を設定し、段階を追って研究を進める。
- ・中間発表の場を設け、修正を行いながら研究を進める。
- ・研究推進校の発表会への参加や文献研究などを行いながら研究を進める。
- ・各教科・特別支援教育の研究をもとに、道德・特別活動・総合的な学習の時間などと連携しながら共通の取り組みとして研究を進める。
- ・学校全体で連絡調整を行い、教科横断的な取り組みを行う。

○研究仮説

①【学校全体としての共通理解と実践】

学校全体で、実践する項目（学習指導要領の内容を含む）を整理し、共通理解をして職員全員で足並みを揃えて生徒の学習意欲を引き出す工夫ができれば、指導効果を高め、学力向上や「深い学び」につなげることができるであろう。

②【各教科での生徒の意欲を引き出す研究】

各教科で「わかった・できた」と実感できる授業づくりに意識を向け、ＩＣＴ機器の活用を助けとし、生徒の意欲を引き出す授業に必要なことは何かを真剣に考え、基礎学力を上げる要素を入れた授業を日々実践していけば、生徒の学習意欲が高まり、「深い学び」に迫ることができるであろう。

③【教師の授業力向上】

一人一人の教師の授業力が高まれば、生徒が授業に集中して取り組み、学習効果を高め、目に見える結果が増え、さらに次への意欲につながる良いサイクルが生まれ、「深い学び」を得ることができるであろう。